



29

## うしろだがわりよくどう 後田川緑道

宮崎県宮崎市堀川町・小戸町

宮崎市は大淀川に面した人口二八万人の県都である。

亜熱帯性の気候をいかし、フェニックスを植栽、植樹するなど独特の町並みを形成している。また日南海岸国定公園として、全国有数の観光地でもある。(文化・観光)

平和台公園、宮崎神宮、青島、市民の森、日南海岸(こども国、サボテン公園、鵜戸神宮)



宮崎市の市街地を流れる後田川は、生活排水の流入によって環境が悪化していたが、下水道事業で整備し、ボックス化した上部空間を緑道公園として整備した。

「後田川緑道」では、延長二・三五キロメートルに、七万本の樹木を植え、ふれあいの森、四季の森、憩いの森、かたらの森、ふるさとの森がそれぞれつくられた。

以前の川を知る付近の市民は、緑道の美しさをいつまでも保とうと守る会を結成、月二回の清掃奉仕作業に積極的に参加している。

緑道は、うるおいとやすらぎの場としてだけではなく、市街地に通じる快適な通勤、通学、買い物道として市民に親しまれ利用されている。